

シンポジウム 心に残る音風景

忘れ得ぬ音、記憶の中の響き、いつもの風景、一期一会の音模様……

人それぞれ 心に残る音風景は異なることでしょう

きれいな音、美しい音ばかりとは限らないかもしれません

音風景の多様性を共有し、相互理解を深め、未来につなげるため、心に残る音風景について、

皆さんからご応募いただいた「心に残る音風景」の写真・動画に耳を澄まし、

ともに考え、学ぶシンポジウムです

第1部 「心に残る音風景」写真・動画コンテスト「表彰式」

(一社)日本サウンドスケープ協会が
設立30周年記念事業の一つとして、
2023年10月から2024年1月
にかけて公募した
「心に残る音風景」写真・動画コンテストの、
入賞作品紹介・結果発表・表彰・講評
・ディスカッションを行います

入賞 (敬称略)

- 【写真の部】 <優秀賞> 「松戸 さくら通りの切り株」(黒崎孝一)
<佳作> 「新橋 パチンコ屋だったところ」(黒崎孝一)
<佳作> 「放課後」(正司琴葉)
- 【動画の部】 <優秀賞> 「朝のリズム」(仁平祥介)

講評・パネルディスカッション 「心に残る音風景」をめぐって



川崎義博(サウンドアーティスト)
京都市立芸術大学
芸術資源研究センター



坪能由紀子(音楽教育)
日本女子大学名誉教授



鳥越けい子(総合文化政策・
サウンドスケープデザイン)
青山学院大学名誉教授



小西潤子(民族音楽学)
沖縄県立芸術大学教授



司会 土田義郎(建築学)
金沢工業大学
建築学部建築学科教授

第2部 招待講演「沈黙と響きの〈あいだ〉—サウンドスケープに寄せて」 木岡伸夫氏 (関西大学名誉教授)

風景哲学・風土論研究の第一人者、
木岡伸夫氏による音風景への初の考察
基本風景、原風景、表現的風景、
音風景の形(かたち)と型(かた)
沈黙と響きの〈あいだ〉について



木岡伸夫(地理哲学・風土学)
関西大学名誉教授

2024 **6/16**(日)
13:30~17:10

放送大学附属図書館AVホール
(千葉市美浜区若葉2-11)

入場無料 主催:(一社)日本サウンドスケープ協会、放送大学千葉学習センター音環境文化ゼミ

お問い合わせ:(一社)日本サウンドスケープ協会「心に残る音風景」シンポジウム実行委員会(兼古)



心に残る音風景

木岡伸夫氏プロフィール



1951年、奈良県に生まれる。京都大学文学部(哲学)卒業、大学院D.C.退学後、大阪府立大学総合科学部、関西大学文学部を経て、同大学名誉教授。

人と自然、人と人の関係性を考える、最も広い意味での環境哲学を、ライフワークとして手がける。

2002年度の在外研修でオギュスタン・ベルクに師事。

以後、和辻哲郎が切り拓き、ベルクに継承された「風土学」の理論構築を、自身の課題として取り組み、新しい哲学としての「風土学」を世に広める挑戦に乗り出す。

風土学の理論三部作『風景の論理——沈黙から語りへ』（世界思想社、2007年）、『風土の論理——地理哲学への道』（ミネルヴァ書房、2011年）、『邂逅の論理——〈縁〉の結ぶ世界へ』（春秋社、2017年）の他、『環境問題とは何か——12の扉から』（編著、晃洋書房、1999年）、『〈縁〉と〈出会い〉の空間へ——都市の風土学12講』（編著、萌書房、2019年）など著書、編著書多数。

アクセス

電車利用

総武線幕張駅又は、京成千葉線幕張駅下車。
海岸方向へ1キロメートル（徒歩15分）

京葉線海浜幕張駅下車。北方向へ1キロメートル（徒歩15分）

路線バスを利用

JR幕張駅(北口)より千葉シーサイドバスで「総合教育センター」下車(所要約5分)

京成幕張駅より京成バスで「総合教育センター」下車(所要約5分)

JR海浜幕張駅(北口)より千葉シーサイドバス、京成バスで「総合教育センター」下車(所要約5分)

電車でのアクセス



周辺図

※放送大学附属図書館へは北門利用が便利です



お問い合わせ

(一社)日本サウンドスケープ協会「心に残る音風景」シンポジウム実行委員会
担当: 兼古勝史 ktsknk@gmail.com

